

✦ ガバナーメッセージ

RI会長主催会議に参加して ― 会員増強・拡大月間に寄せて ―



国際ロータリー第2750地区 2008-09年度ガバナー 新藤 信之

去る7月7日(月)ホテルグランパシフィック LE DAIBAにおいてRI会長主催会議が1,200名を超える参加者のもと盛大に開催されました。12カ所開催予定のRI会長会議が日本で最初に開催されたことは、Lee会長が、日本の将来を最も大切に、日本の会員増強に寄せる期待が大であることを端的に示しています。

今回の会議の特色は、会員増強(会員基盤の確立)をテーマとして、地区レベルの会合からクラブレベルの会合に焦点を移行したことです。つまり会員増強は、ひとつ一つのクラブ単位の問題であるという認識から、クラブ会長、幹事、会員増強委員長の参加を呼びかけ、事実、これらの人が参加者の90%以上を占めていたことです。

Lee会長は、「RIテーマMake Dreams Realのもと、1人でも多くのロータリアンを増強することは、1人でも多くの子ども達を救うことにつながる。世界中の多くの子ども達もロータリーを求めている今こそ、ロータリーの発展の最良の時期である」そして、低下傾向に歯止めが掛かった今年度、「日本のロータリーは若返り、会員が増強されることを確信する」と日本の我々に熱く語りかけました。

Ronald RI会員増強・会員維持委員長は「ロータリーの力は会員の質に大きく依存します。と同時に質の量、つまり質の高い多くの人材を求めることが必要です。古い慣習から抜け出せない、古い考え方こそ恐れるべきで、変化や新しい考え方を恐れてはならない」と、会員増強には、変化と新たな考え方を取り入れることを繰り返し強調されました。

さて、今年度地区組織で、会員増強、拡大に関する委員会を「会員基盤強化委員会」とあえて命名致しました。効果的クラブの4つの要素の第1に、会員基盤を維持・拡大する…とあります。ロータリーの会員は「質の高い職業人」です。会員基盤を会員の「数」と把握するのと「質」と把握するのでは委員

会そのものの役割が大きく異なってきます。そこで、会員基盤強化委員会の任務内容として(職業奉仕・組織強化)と注釈を加えました。

RIは、会員がクラブを退会する理由に関する豊富な調査データを揃えています。最初の1~2年以内に退会する会員の多くは、入会前に会員の責務について十分知らされていなかったことや、入会後に十分な教育が受けられなかったことを理由として挙げています。会員基盤強化委員会は、情報伝達、研修を通じて、会員一人ひとりの職業人としての資質を高め、職業倫理を高揚し、深化・強化することが重要な役割となります。会員候補者は少なくともロータリーとはどのような団体であり、自分の職業分類が何なのかの説明を受け、了解の上入会します。新会員の職業人としての意識を喚起することなしに、ただ会員数を増やすことだけを意識して入会を勧誘する結果、早期退会者が後を絶たないことを充分認識すべきです。加えて、組織が自然に衰退することを避けるために、若い会員の入会に力を入れることが大切です。ロータリーが地域のニーズに応えるために、事業や専門職の分類での多様性も重要であることは勿論ですが、世代間の多様性こそ、不可欠な要素です。

2~3年後に退会する会員の多くは、クラブ行事や活動への参加意識を得られないこと、クラブへ溶け込めなかったことを挙げています。一年未満の若い会員にも、仲間を推薦する資格を与えて下さい。早い時期に、クラブの大切な役割に付くよう計らって下さい。クラブ活動を自分で管理し、参加しているという意識が生まれれば、ロータリーを自分の生活の一部と考え、奉仕活動に積極的に参加しようという意欲が生まれます。

会員基盤の強化は、ひとつ一つのクラブの責務です。地区会員増強10%の目標を目指し、クラブがそれぞれアイデアを出し合い、相応しい方法で会員増強を進めましょう。

GML INDEX

✦ ガバナーメッセージ

✦ 地区ロータリー財団セミナー / 地区米山記念奨学委員会セミナー

✦ RLIについて / 文庫通信 / 寄付報告 / 物故

✦ 出席報告 / 編集後記

<http://www.ri2750.org/>

✦ ガバナーからのお知らせ

7月24日(木)東京広尾ロータリークラブを皮切りにガバナー公式訪問が始まりました…。今年度は希望13クラブの単独訪問が実現しました。

我が地区にDLPが導入され10年目です。会員の皆様と身近に接し、会話ができたと思います。合同例会後でも、出来るだけ多くの方と話し合える機会を設営していただくことを期待します。

Join an RI President Membership Conference

– For membership growth and expansion month –

2008-2009 Presidential Membership conference was held at Grand Pacific Hotel Le Daiba on July 7th and attended over 1200 participants on a large scale. The reason why 12 presidential membership conferences was held first of all in Japan is that 2008-2009 RI President D.K.Lee directly shows he greatly expects a future of Japan and membership growth in Japan.

Feature of this conference is to transfer a district based meeting into club based meeting as a theme of membership growth(Sustaining or increasing The membership base of each club). In brief, membership growth is recognized as each club's issues and so a president, secretary and a chairman of membership growth committee in a club are called to attend and over 90% of the participants are occupied at the conference in fact.

2008-2009 RI President D.K.Lee eagerly talks to us that membership growth to make one more Rotarians to increase leads to save more children and it is best time to make a expansion of Rotary that is asked by more children around the world, and Japanese Rotarians get younger and more membership growth when it is a best time to break a decrease tendency for it.

Ronald RI Membership Development and Retention Committee Chairman repeatedly emphasizes to adopt a change and a new view for the membership growth that is a power of Rotary is dependent on the quality of membership and the quantity of quality at the same time, that is to request more qualified and more talent members and we get rid of old customs, understand old mind that makes terrible and brave to challenge a change and new mind.

Now the committee that has a responsibility of membership growth and expansion in the district organization this year is dared to call a membership "ground reinforcement" committee. One of four elements for effective club is to sustaining or increasing the membership base. Rotary member is a highly qualified professional. There are any differences for the committee's responsibilities to grasp between the numbers of the members and the qualities for the membership ground. And the duties of the membership ground reinforcement committee are added to vocational services and the organization reinforcement and annotation on it.

RI has large number of research data concerning about the reasons to withdraw the club. Most of withdrawing members within one to two years can not have been adequately understood the responsibility they take before they joined the club and they have not taken enough training after they were enrolled.

A membership ground reinforcement committee greatly performs to increase quality of each member as a professional person, uplift professional ethics and deepen and strengthen it. Candidate of the rotary member takes an explanation what group a rotary is and what professional classification a candidate is and join the rotary after agreement. As a result of recruiting a membership to aware of increasing the number of members without challenging a consciousness of their professional person as s new member, we have to recognize that early withdrawing a club continues.

In additional, it is important to do our best to join young members in the club not to decrease the organization gradually. In order to meet local needs the diversity of project and professional

classification is important and the diversity between the old and the young is an essential factor to do it.

Most of members who withdraw within a couple of years can not gain a participation consciousness for the club events and activities and not mix well at the club. For a new member within one year please give them any capacity to recommend their friends and so take them an important position in a club as early as possible. If they can manage the club activities by themselves and have any consciousness for their participation, they think the rotary is one of their life and are interested to attend service activities aggressively

The membership ground reinforcement is duties of each club. Please catch up our goal for increasing 10% of the district membership, put our ideas together in a club and carry the membership growth in a proper way.

地区ロータリー財団セミナー

ロータリー財団委員会 委員長 福井 衛(東京武蔵府中RC)

2008-09年度の地区ロータリー財団セミナーが、2008年6月4日(水)14時30分から17時30分までの3時間、広尾のJICA地球ひろば3階講堂にて開催されました。このセミナーは当該年度ガバナーの主催により、地区内クラブの会長及び、ロータリー財団委員長を出席義務者として毎年8月末日までに開催することが推奨されていますが、本年度は新藤ガバナーの要望により年度開始前に開催されました。

プログラムの主な内容は以下の通りです。

- | | |
|--------------------------------|--------------------------|
| ① 現行ロータリー財団プログラムの概要説明(パワーポイント) | ② 地区目標によるロータリー財団寄付増進について |
| ③ 地区補助金ならびにマッチング・グラントの申請について | ④ 国際親善奨学生候補者の選考について |
| ⑤ ロータリー財団の未来の夢計画について | ⑥ 質疑応答 |

今回のセミナー開催にあたっては、従来行われていたロータリー財団部門各小委員長による細切れ的なプレゼンテーションを取り止め重点分野に時間を割くとともに、PETSおよび地区協議会ロータリー財団分科会でも取り上げたロータリー財団未来の夢計画に関する最新の情報提供ならびにパイロット地区への立候補について理解を求めることに主眼をおきました。質疑応答では補助金申請の具体的方策と過去の事例、未来の夢計画、ビル&メリンダ・ゲイツ財団によるポリオ撲滅1億ドル・チャレンジ寄付等について活発な質疑が行われました。

今回のセミナーには新藤ガバナー、久邇ガバナーエレクトをはじめ地区ロータリー財団部門への出向者を含めPBGを除く国内クラブから132名が出席しましたが、残念なことに国内83クラブのうち5クラブは出席者がゼロでした。この5クラブには当日の配布資料を送付しております。

今年度は新藤ガバナーの要望により地区全体としてのロータリー財団セミナーは今回限りの開催ですが、ロータリー財団未来の夢計画パイロット地区への立候補は2009年2～6月に行う必要がありますので、今後は各グループのガバナー補佐の協力により、本年10月～12月にかけてグループごとにロータリー財団に特化したグループ協議会を開いていただき、ロータリー財団への理解を求めてゆきたいと思います。

地区米山記念奨学委員会セミナー

米山記念奨学委員会 委員長 関 博子(東京世田谷中央RC)

新藤年度、初めてのクラブ米山記念奨学委員長セミナーが7月9日(水)京王プラザホテルにて開催されました。

登録は103名(昨年132名)で出席内訳は、クラブ会長・幹事19名、クラブ米山奨学委員長60名、地区役員・委員20名。欠席者4名。出席者のないクラブ14クラブでした。

最初に、新藤ガバナーから米山に対するお考えと寄付金目標額一億と打ち出されております件のご説明。全国の米山奨学生支援を800名から1,000名に復活する事を夢として、是非、寄付金一人当たり2万円を目標に頑張りたいと力強いご要請がありました。

次に昨年度の実績報告として、坂本年度米山寄付金目標は8,000万円でしたが、8,397万円の実績。全国では2位という好成績を収めました。皆様のご協力に感謝申し上げると共に引き続き今年度も奨学生に対する支援を宜しくお致します。因みに1位は第2650地区(京都・滋賀・福井・奈良)11,500万でした。

7月7日(月)のRI会長主催会議で、新世代に対して大きな期待が寄せられました。日韓親善会議で第7回、第9回と米山奨学生のスピーチが好評を得、2010年9月韓国ソウルで行われる第10回日韓親善会議でも米山奨学生に要請が来ています。(日韓の問題が多い中、民間大使として米山奨学生が活躍しています)

ロータリアンへ米山奨学生の理解を深めるため、奨学生・学友の卓話を昨年全クラブへ依頼致しましたが83クラブのうち、75クラブで実施されました。今年も引き続き行いますので、委員会までご希望の日をお知らせください。

年間スケジュール(米山委員会ホームページに掲載)(クラブ米山委員長セミナー2回、カウンセラーセミナー2回、選考試験、終了式、秋の親睦旅行)等。

委員会では学友を取りまとめる事を目的に、懇親を深める親睦会年2回行っております。

7月9日セミナー登録費

3,000円×99名=297,000円



クラブの人財(材)育成を願う RLI (ロータリーリーダーシップ研究会)

最近クラブ内でRLIというクラブ会員のレベルアップの教育システムについて話を聞いた事ありませんか…?

この教育プログラムは、1992年頃から米国で始まり、いろいろな国で採用され100地区ほどが推進中であり、わが国に於いても第2750地区を皮切りに各地区で推進準備中です。RI理事会も深く係わり推奨しているプログラムですがRLI推進本部はRIとは別組織の教育機関として運営しております。

RLIは、これからクラブの中心的存在に成長願う一般会員向けに全ての地区がほぼ同じカリキュラムで、ワークショップの手法を使い1年で3日間25コースに参加し、基礎を学び、積極的な行動を期待する、即ちやる気を起こすような内容になっております。第一回を当地区では2008年5月に実施し60名程の方が参加され、大変好評で2回目も是非参加したいとのことでした。

(☆参加者の評価表は別に取っておりますので興味のある方はご要望下さい。)

第2回、3回を本年中に完了し晴れて卒業生が多数出られる事と思います。

ただ1年で完了というのは期待であって参加者の都合により2年でも3年かけても結構で、全てに参加する事に意義があります。

実施方法はPart1・7コース[1コース:50分]全てに参加して頂き、Part2、Part3と毎回レベルが上がり卒業コース[2コース:2時間]を経て修了します。各コースとも10～15名の小グループに分けますので1回の参加者は100名ぐらいになります。従って参加者はカリキュラムにどっぷり浸かって頂きますので従来のセミナーとは違った充実感を得る事が出来ると思います。

参加者は、クラブの会長から推薦された方が良くと云われておりますが、クラブにお任せしてもよいでしょう。クラブから毎年1～2名ですから、半歩ずつクラブ活性化の中心となるクラブリーダーに育って頂くプログラムです。

先の永い継続する事に意義があり、クラブの皆様にもご協力とご理解を願わなくてはならないプログラムです。

記：地区立法案検討委員会 副委員長

RLI 担当事務局 中村 孝(東京荏原RC)

米山功労者ご紹介

ご協力を感謝致します

米山功労者	黒田 百樹君	東京小金井さくら	2008.6.2	1
	信山 勝由君	東京小金井さくら	2008.6.2	2
	渡辺 勇君	東京小金井さくら	2008.6.2	2
	志村 利政君	東京西南	2008.6.11	3
	飯田 桂子君	東京レインボー	2008.6.13	7
	柴田 和子君	東京レインボー	2008.6.13	7
	岩井 敏君	東京京浜	2008.6.25	10
	徳増 禮子君	東京原宿	2008.6.27	3

ポール・ハリス・フェローご紹介

◎はマルチプル
ご協力を感謝致します

◎ 太田 嘉正君	東京中央	2008.5.16
則定 衛君	東京日本橋	2008.6.13
大嶽 隆司君	東京中央	2008.6.27
◎ 大嶽 隆司君	東京中央	2008.6.27
◎ 齊藤 司享君	東京田園調布緑	2008.6.27

新ベネファクターご紹介

頼 計輔君	東京世田谷中央	2008.6.13
-------	---------	-----------

文庫通信 (250号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、2万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。

以下資料のご紹介を致します。

—— 最近のロータリー情報より(1) ——

◎「韓国のロータリー現況」

李 東均 2008 8p
(第9回ROTARY日韓親善会議報告書)

◎「韓日新世代交流プログラムの昨日、今日、そして明日」

萬 鳳濟 2008 4p
(第9回ROTARY日韓親善会議報告書)

◎「ロータリーを支えよう — 真心込めて」

四津谷仁朔 2008 6p[絆(Ⅳ)]

◎「世界はあなたを待っている」

関場慶博 2007 5p
(第12回ロータリー青少年交換研究会長崎会議報告書)

◎「価値ある増強」

井上瑛夫 2008 5p(D.2680月信)

◎「ロータリーの神髄」

深川純一 2008 12p(D.2680月信)

◎「職業宣言」

鈴木政昭 2008 2p(D.2800月信)

◎「2680地区2007～2008年度ロータリー財団セミナー」

松下 衛 2007 10p(D.2680月信)

[上記申込先:ロータリー文庫(コピー/PDF)]



〒105-0011

東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F

TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506

http://www.rotary-bunko.gr.jp

開館=午前10時～午後5時 休館=土・日・祝祭日

深く哀悼の意を表し御冥福を祈ります



小林 秀信(東京町田・中RC)

2008年6月18日 逝去(享年67歳)
1982年3月2日 東京町田・中RC入会
1996～97年度 第17代クラブ会長
ポール・ハリス・フェロー(2回)
ベネファクター 米山功労者(2回)



斎藤 和明(東京府中RC)

2008年6月21日 逝去(享年73歳)
2006年7月5日 東京府中RC入会
ポール・ハリス・フェロー



※ガバナー月信7月号掲載の物故者におきまして以下のとおり間違えがございました。
誤 東京日本橋RC入会 → 正 東京日本橋東RC入会



七條 達一(東京日本橋東 RC)

2008年6月10日 逝去(享年90歳)
1969年10月30日 東京日本橋東 RC 入会
(チャーターメンバー)
1982～83年度 第14代クラブ会長
ポール・ハリス・フェロー(3回)
米山功労者(6回)

★国際ロータリー第2750地区出席報告（6月分）★

District 2750 Membership Attendance Report June 2008

区分	クラブ名	例会	出席率	会 員 数			区分	クラブ名	例会	出席率	会 員 数			
				07年7月1日	08年6月末	増減					07年7月1日	08年6月末	増減	
千代田グループ	東 京 南	4	78.41	183	179	-4	多摩南グループ	東 京 八 王 子	4	94.83	62	60	-2	
	東 京 芝	3	87.61	94	99	5		東 京 町 田	4	84.18	64	64	0	
	東 京 新 橋	4	76.73	56	54	-2		東 京 日 野	4	78.57	45	43	-2	
	東 京 赤 坂	4	72.00	52	54	2		東 京 八 王 子 西	3	86.76	70	68	-2	
	東 京 み な と	4	80.99	55	53	-2		東 京 町 田 ・ 中	3	82.27	42	40	-2	
	東 京 レ イ ン ボー	5	80.00	51	48	-3		東 京 八 王 子 東	4	90.83	30	31	1	
銀座・日本橋グループ	東 京 麻 布	4	75.00	27	24	-3	多摩中グループ	東 京 八 王 子 南	4	90.45	55	56	1	
	東 京 銀 座	4	77.65	163	162	-1		東 京 町 田 サ ル ビ ア	4	92.43	28	27	-1	
	東 京 日 本 橋	4	79.17	161	174	13		東 京 飛 火 野	4	79.54	31	32	1	
	東 京 築 地	4	84.26	78	70	-8		東 京 町 田 東	4	80.00	31	31	0	
	東 京 日 本 橋 東	3	81.08	59	54	-5		東 京 八 王 子 北	4	71.21	34	33	-1	
	東 京 中 央	4	75.91	210	230	20		東 京 立 川	4	93.05	87	88	1	
京浜グループ	東 京 日 本 橋 西	4	89.53	51	49	-2	多摩東グループ	東 京 小 金 井	3	99.10	44	40	-4	
	東 京 銀 座 新	4	78.67	75	77	2		東 京 国 分 寺	3	94.00	54	57	3	
	東 京 シ テ ィ 日 本 橋	4	75.53	51	50	-1		東 京 三 鷹	4	86.20	44	48	4	
	東 京 中 央 新	5	64.70	38	38	0		東 京 昭 島	4	76.00	50	53	3	
	東 京 羽 田	4	88.43	42	45	3		東 京 国 立	3	99.20	56	56	0	
	東 京 品 川	4	87.39	65	67	2		東 京 立 川 こ ぶ し	4	91.43	85	88	3	
山の手東グループ	東 京 大 森	4	93.87	52	52	0	バシフィック・パシフィックグループ	東 京 井 の 頭	5	85.20	27	24	-3	
	東 京 荏 原	4	81.71	48	44	-4		東 京 昭 島 中 央	4	85.00	33	30	-3	
	東 京 大 井	4	81.25	20	20	0		東 京 武 蔵 国 分 寺	5	95.27	53	57	4	
	東 京 田 園 調 布	4	93.23	48	46	-2		東 京 小 金 井 さ くら	3	80.56	24	26	2	
	東 京 港 南	4	70.24	23	20	-3		東 京 国 立 白 う め	4	82.00	28	25	-3	
	東 京 大 崎	4	90.13	38	33	-5		東 京 府 中	4	78.89	65	65	0	
山の手西グループ	東 京 蒲 田	4	93.18	58	61	3	国内83クラブ計	東 京 調 布	4	88.76	69	69	0	
	東 京 京 浜	3	82.15	23	23	0		東 京 多 摩	3	75.64	28	25	-3	
	東 京 荏 原 か め り あ	4	82.14	14	12	-2		東 京 狛 江	3	89.00	37	34	-3	
	東 京 田 園 調 布 緑	4	88.87	25	23	-2		東 京 稲 城	4	79.29	37	35	-2	
	東 京 マ リ ー ン	4	88.24	17	18	1		東 京 武 蔵 府 中	4	85.03	54	52	-2	
	東 京 白 金	4	92.20	31	35	4		東 京 た ま が わ	4	74.14	28	26	-2	
山の手東グループ	東 京 高 輪	2	80.50	26	28	2	地区91クラブ計	東 京 多 摩 グ リ ー ン	3	82.86	31	32	1	
	東 京 西	4	80.96	160	157	-3		東 京 調 布 む ら さ き	3	87.50	77	79	2	
	東 京 城 西	4	78.17	81	78	-3		Guam	4	49.63	57	63	6	
	東 京 西 南	4	77.42	60	59	-1		Saipan	4	58.00	39	49	10	
	東 京 原 宿	4	90.91	32	31	-1		Tumon Bay	4	34.07	95	98	3	
	東 京 杉 並	4	81.45	52	44	-8		Northern Guam	5	54.00	38	36	-2	
山の手西グループ	東 京 神 宮	4	70.50	43	40	-3	千代田グループ	Pohnpei	5	60.00	20	22	2	
	東 京 恵 比 寿	4	75.80	94	101	7		Palau	5	42.00	24	24	0	
	東 京 広 尾	4	65.91	34	32	-2		Guam-Sunrise	4	57.64	35	37	2	
	東 京 渋谷	5	80.07	44	45	1		Truk Lagoon	4	75.00	7	7	0	
	東 京 六 本 木	5	76.00	48	52	4		平均出席率			80.30			
	東 京 世 田 谷	4	88.56	53	49	-4		銀座・日本橋グループ			78.50	多摩中グループ	88.92	
山の手西グループ	東 京 目 黒	4	84.40	47	48	1	京浜グループ	山の手東グループ			77.72	P B グループ	53.79	
	東 京 成 城	4	86.54	27	25	-2		山の手西グループ	山の手西グループ			81.02		
	東 京 世 田 谷 南	4	85.00	90	92	2								
	東 京 城 南	2	67.00	34	30	-4								
	東 京 山 の 手	4	77.95	74	68	-6								
	東 京 成 城 新	3	84.49	39	43	4								
山の手西グループ	東 京 青 山	4	76.40	34	32	-2								
	東 京 自 由 が 丘	4	83.22	21	20	-1								
	東 京 世 田 谷 中 央	4	76.67	26	32	6								

編集後記

今年度は、ガバナー月信と地区のホームページが一体となった形をとっております。

ホームページには、ガバナー月信のPDF版を載せ、4ページ(紙ベース)のガバナー月信では掲載できなかった地区行事・各グループ情報・各委員会活動情報等の「地区の活動

通信」を月別計画的に掲載してまいります。

ガバナー公式訪問については、9月号よりホームページにアップしていく予定です。

今後ともガバナー月信・ホームページの充実を図ってまいりますので、よろしくお願い致します。

2008-09年度 ガバナー月信・IT委員会 副委員長(IT担当) 河村 勝久(東京立川こぶしRC)

国際ロータリー第2750地区 2008-09年 ガバナー 新藤 信之

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F 電話 03-3436-2750 FAX 03-5472-2750

Rotary International District 2750 2008-09 Governor Nobuyuki Shindo

KOKURYU SHIBA-KOEN BLDG. 3F, 2-6-15 SHIBA-KOEN, MINATO-KU, TOKYO, JAPAN 105-0011 PHONE 03-3436-2750 FAX 03-5472-2750

発行：ガバナー 新藤 信之(2008-09) © Nobuyuki Shindo 2008

編集・制作：ガバナー月信・IT委員会委員長 森本 行俊 副委員長(ガバナー月信担当) 浅見 省三
竹平 時彦 中野 博義 田辺 克彦 松田 美房 清野 修一 坂場 一隆 渡辺 卓美 山見 真弘 木村 清信

ガバナー月信・IT委員会副委員長(IT担当)：河村 勝久

ホームページアドレス

<http://www.ri2750.org/>